

TamaHome®

# 2016年5月期 第2四半期 決算説明補足資料

タマホーム株式会社 < 1419 >  
2016年1月18日

## 目次

1. 発表のポイント (P. 3)
2. 受注実績 (P. 4)
3. 売上高実績 (P. 5)
4. 営業利益実績 (P. 6)
5. 住宅事業セグメント実績 (P. 7)
6. 非住宅事業セグメント実績 (P. 8)
7. 連結損益計算書(P/L) (P. 9)
8. 連結貸借対照表(B/S) (P. 10)
9. 連結キャッシュ・フロー計算書(P. 11)
10. 2016年5月期 見通し (P. 12)
11. 「タマステップ2018 進捗報告」(P. 13)

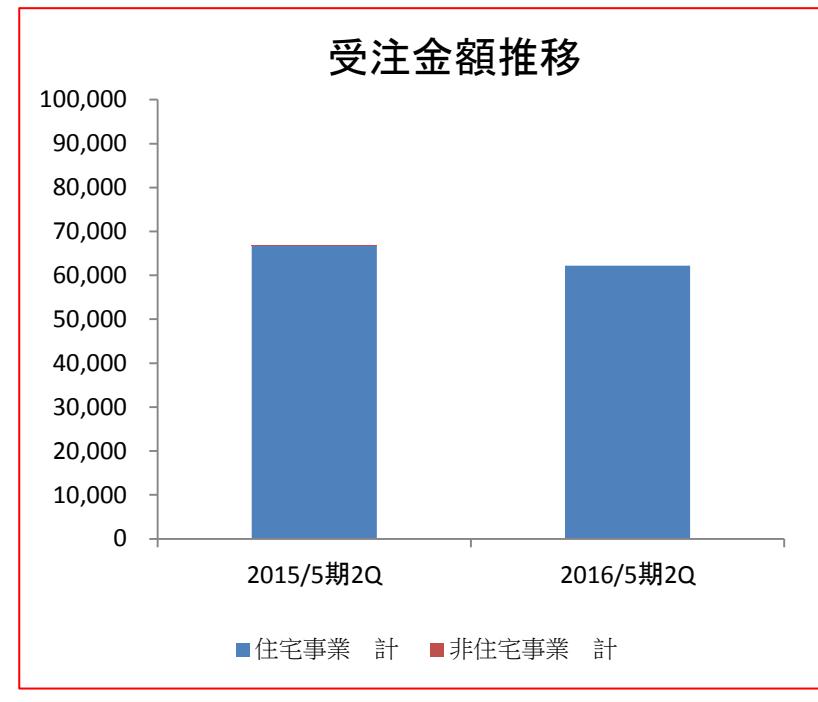
## 1. 発表のポイント

- 当期受注の減少(前年同期比93.0%)により、注文住宅の引渡棟数が減少し、住宅事業は減収減益
- 第2四半期に入り、来場客数が回復傾向
- 戸建分譲の引渡棟数は前年を上回るも、前年第2四半期に計上した土地の売却益の特殊要因がなくなり、不動産事業は增收減益

## 2. 受注実績

- 住宅事業は、消費増税後の消費マインドの冷え込みが続き、前年同期比で7.0%の減少  
11月は前年同月比で113.0%と回復傾向
- リフォーム事業は、アフターマーケット事業部として再始動

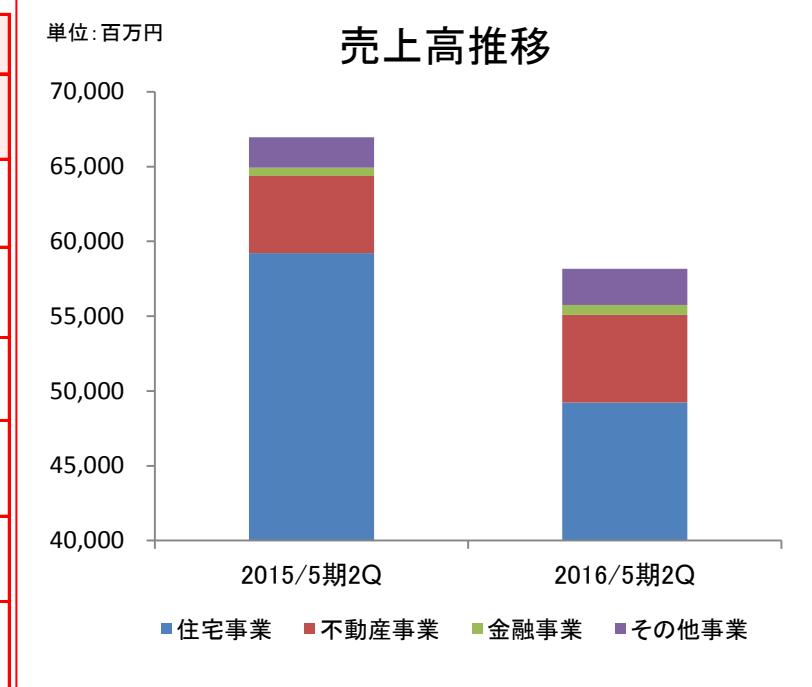
(単位:百万円)	受注金額		
	15/5期 2Q	16/5期 2Q	前期比
住宅事業 計	66,791	62,182	93.1%
注文住宅	66,547	61,883	93.0%
(棟数)	3,743	3,500	93.5%
賃貸住宅	76	0	0.5%
リフォーム	167	298	178.4%
その他事業	140	0	0.0%
総 計	66,932	62,182	92.9%



### 3. 売上高実績

- 住宅事業は、受注低迷により前年同期比で減少
- 不動産事業は、前期に購入した分譲地の販売を進め、前年同期比で増加
- 金融事業は、火災保険の付保率・単価の上昇や、更改件数が増加し、住宅の引渡棟数減少をカバー  
また、フラット35Sの利用率・契約単価が上昇し、前年同期比で増加
- その他事業は、2015年2月からメガソーラー事業の商業運転開始等により、前年同期比で増加

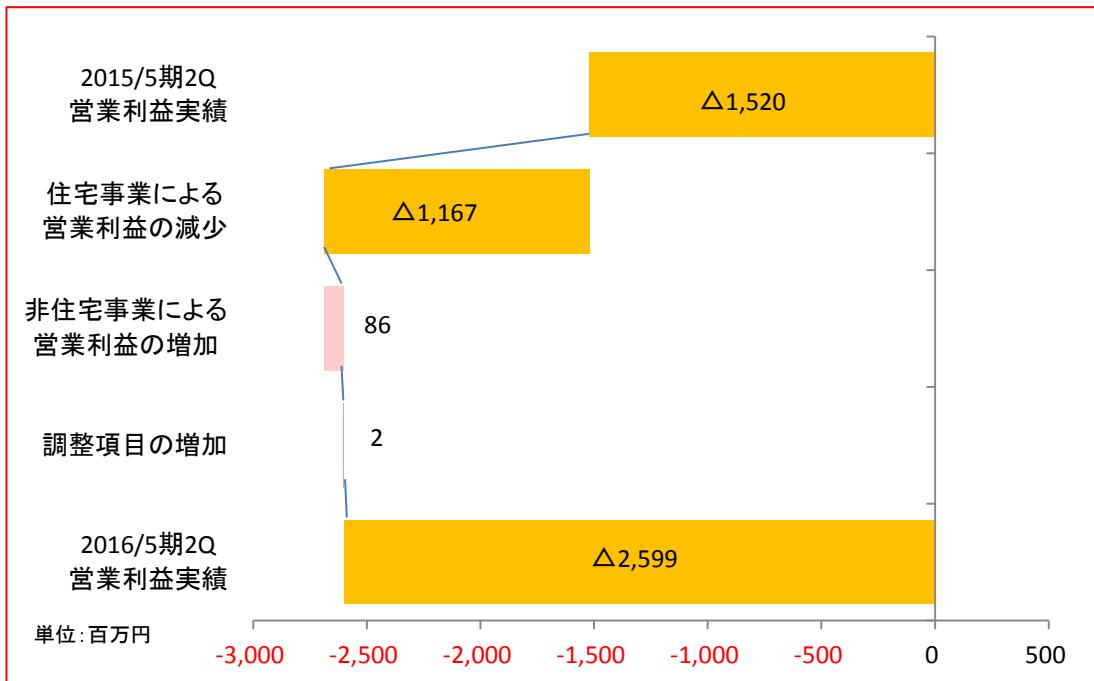
(単位:百万円)	売上金額		
	15/5期 2Q	16/5期 2Q	前期比
住宅事業 計	59,210	49,225	83.1%
非住宅事業 計	7,756	8,944	115.3%
不動産事業	5,164	5,866	113.6%
金融事業	547	650	118.8%
その他事業	2,044	2,427	118.7%
総計	66,966	58,169	86.9%



## 4. 営業利益実績

- 住宅事業は、引渡棟数が前年を下回り、売上高の減少が響き減益
- 不動産事業は、戸建分譲の販売が増加するも、前年同期の土地売却益分の差異が生じ減益
- 金融事業は增收および収益性アップにより増益
- その他事業は、メガソーラー事業の商業運転開始に伴う売電収入により損失額減少

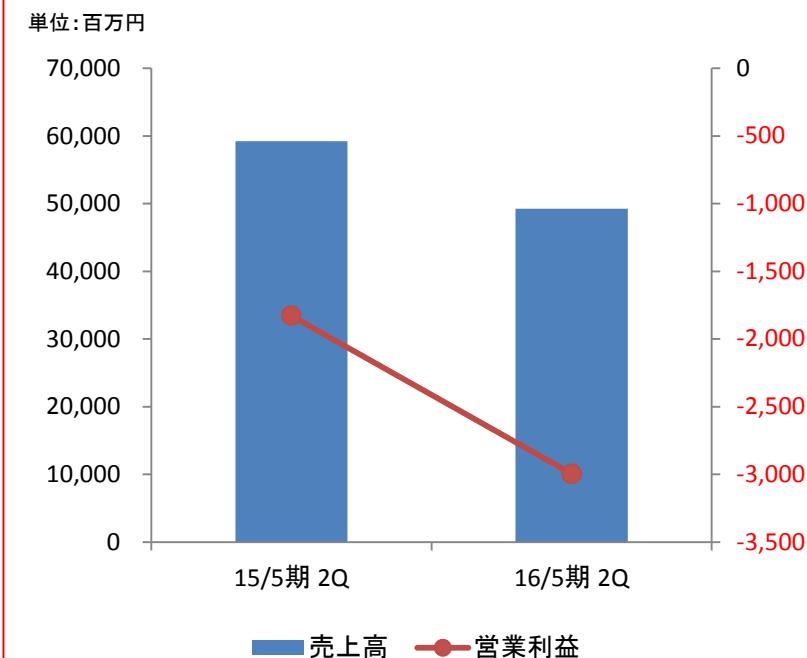
(単位:百万円)	営業利益金額		
	15/5期2Q	16/5期2Q	前期比
住宅事業 計	-1,829	-2,996	-
非住宅事業 計	295	381	129.2%
不動産事業	600	275	45.8%
金融事業	261	353	135.2%
その他事業	-566	-246	-
調整額	13	15	-
総計	-1,520	-2,599	-



## 5. 住宅事業セグメント

- 売上高 : 49,225百万円(前年同期比 16.9%減)
- 営業損失 : 2,996百万円(前年同期営業損失 1,829百万円)

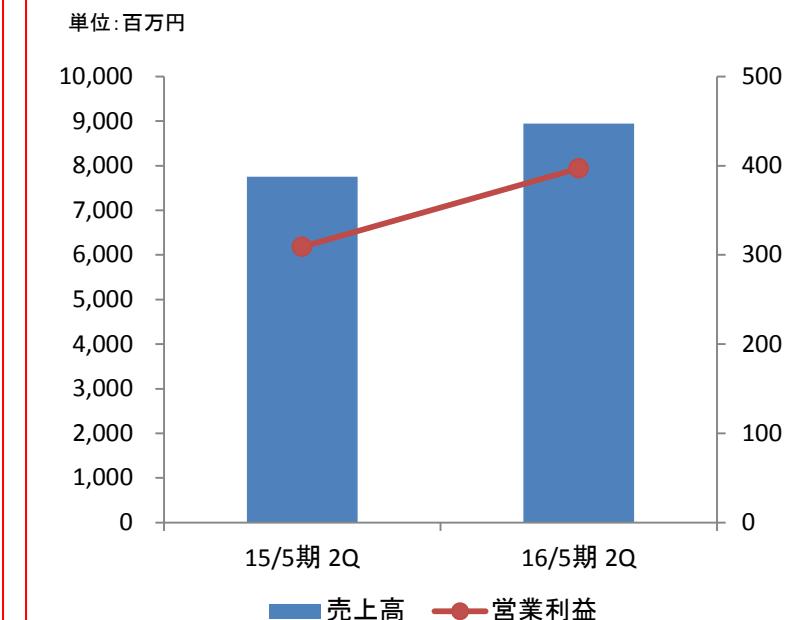
- 注文住宅の引渡棟数減少
- 注文住宅平均販売単価は上昇  
(2015/5期2Q) 1,764万円  
(2016/5期2Q) 1,780万円  
参考(2016/5期1Q) 1,798万円
- モデルハウス出店と既存店リニューアル  
新規出店 2店舗  
リニューアル 210店舗



## 6. 非住宅事業セグメント

- 売上高 : 8,944百万円(前年同期比 15.3%増)
- 営業利益 : 381百万円(前年同期比 29.2%増)

- 不動産事業
  - ・戸建分譲の販売棟数が増加するも、前期発生した土地転売による売却益分の差異が生じ、増収減益
- 金融事業
  - ・火災保険の付保率、契約単価上昇、更改件数の増加により販売棟数の減少をカバー、また、住宅ローン、生命保険商品の販売好調もあって増収増益
- その他事業
  - ・2015年2月からメガソーラー事業の商業運転開始に伴い、損失縮小



## 7. 連結損益計算書（P/L）

- 売上総利益率 25.5% : 前期からの価格改定が寄与し、工事利益率が上昇
- 営業損失 2,599百万円 : 引渡棟数減少の影響が大きく、住宅事業で2,996百万円の営業損失

(単位: 百万円)	2015/5期 2Q	2016/5期 2Q	増減	前期比
売上高	66,966	58,169	-8,796	86.9%
売上総利益	16,337	14,840	-1,497	90.8%
利益率	24.4%	25.5%	1.1%	-
営業利益	-1,520	-2,599	-1,078	-
利益率	-	-	-	-
経常利益	-1,523	-2,814	-1,290	-
利益率	-	-	-	-
税金等調整前 四半期純利益	-1,656	-2,969	-1,313	-
利益率	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-1,435	-2,365	-929	-
利益率	-	-	-	-

## 8. 連結貸借対照表（B/S）

- 資産 : ①現預金の減少 : 前期末が休日のため5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生および、引渡棟数の減少  
②たな卸資産の増加 : 前期末に引渡棟数増加による未成工事支出金の減少、  
戸建分譲販売強化のため仕掛け販売用不動産の増加
- 負債 : ①支払手形、工事未払金の減少 : 5月末支払手形の決済日が6月にズレ発生および、引渡棟数の減少  
②未成工事受入金の増加 : 仕掛け中物件の増加

(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期2Q	増減
流動資産	55,311	50,357	-4,954
現金・預金	27,119	15,543	-11,576
受取手形・完成工事未収入金等・営業仮受金	3,307	4,273	966
たな卸資産	20,385	25,869	5,484
その他流動資産	4,499	4,671	171
固定資産	31,760	31,535	-225
有形固定資産	25,476	25,565	88
無形固定資産	536	472	-64
投資有価証券	1,311	1,255	-56
その他投資等	4,435	4,242	-192
資産合計	87,071	81,892	-5,179

(単位:百万円)	2015/5期4Q	2016/5期2Q	増減
負債合計	72,677	70,041	-2,636
支払手形 工事未払金等	21,806	16,728	-5,078
短期有利子負債	11,340	12,172	831
未成工事受入金	12,388	17,733	5,344
長期有利子負債	15,299	14,446	-852
その他負債	11,842	8,960	-2,881
純資産合計	14,393	11,851	-2,542
株主資本	13,680	11,049	-2,631
その他包括利益累計額	378	417	39
非支配株主持分	334	384	49
負債及び純資産合計	87,071	81,892	-5,179

## 9. 連結キャッシュ・フロー計算書(C/F)

## ● 営業C/F

税金等調整前四半期純損失の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少等により、マイナスに

## ● 投資C/F

新規出店・リニューアルに伴う固定資産の取得により、支出額は増加

## ● 財務C/F

前年同期に比べ、短期借入金が4,500百万円減少

(単位:百万円)	2015/5期 2Q	2016/5期 2Q	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	-13,626	-9,982	3,644
投資活動によるキャッシュ・フロー	-4,706	-1,247	3,459
フリー・キャッシュ・フロー	-18,333	-11,229	7,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,925	-339	-7,264
現金および預金同等物の四半期末残高	20,629	15,543	-5,086

## 10. 通期見通し

- 2016年5月期 通期業績予想につきましては、2015年7月14日発表の  
予想数値から変更はございません

注：当社の売上及び利益は、第4四半期の構成比が高くなる傾向にあります

(単位:百万円)	2015/5期 実績	2016/5期 2Q実績	2016/5期 通期予想
売上高	149,570	58,169	153,700
営業利益	2,284	-2,599	2,800
利益率	1.5%	-	1.8%
経常利益	2,016	-2,814	2,800
利益率	1.3%	-	1.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-641	-2,365	1,000
利益率	-	-	0.7%

## 11. 中期経営計画「タマステップ2018」進捗報告

“面”の展開から“層”の拡大へ

## 1. 低価格良質住宅を中心として注文住宅事業を強化

### ● ベーシックライン事業

- ・ 2015年10月14日より「期間限定商品」として、主力の大安心の家シリーズに比較し  
3~4割低価格な商品の試験販売を開始

12月末までの契約棟数71棟

販売価格帯900万円～1,200万円(東京エリアの場合)

特徴：シンプルを追求した家づくり、月々2万円台からの返済で購入可能

数プランから選択可能な企画住宅、2階建て、オール電化

## 2. 戸建分譲事業の強化と不動産事業の拡大

### ● 戸建分譲事業

- ・ 戸建分譲事業部を立ち上げ  
注文住宅事業との兼任から独立し、市場の大きなエリアに戸建分譲事業課を設置

### ● 不動産事業

- ・ タマホーム不動産(株)を2015年8月4日に設立し、不動産売買仲介専門 1号店となる  
「タマショップ新宿」を1月15日より営業開始

“面”の展開から“層”の拡大へ

### 3.リフォーム等の住宅周辺事業を強化

#### ● リフォーム事業

- ・ アフターマーケット事業部として、リフォーム課、CS営業課を全国に設置し、OB顧客を中心にライフタイムバリューの最大化を目指す

### 4.その他の事業

#### ● ホテル関連事業

- ・ タマホテルズ(株)を2015年12月1日に設立、  
1号店「タマディアホテル羽田」(160室)を3月18日に開業予定
- ・ カンボジア・サービスアパートメントの空室を宿泊用に活用し稼働率アップを図る

#### ● レストラン事業

- ・ 上海のザ・ポートマン・リッツカールトンホテルのメインダイニングとして、タマフードインターナショナル(株)が「アラン・ウォンズ・上海」を2015年12月24日より営業開始

TamaHome®

<お問合せ先>

タマホーム株式会社 経営企画部広報・IR課

TEL : 03-6408-1200

<http://www.tamahome.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向および市場環境や  
当社の関連する業界の動向、その他内部・外部要因により変動することがあります。

従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承ください。